

船舶事故等調査報告書

平成22年3月25日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第226号	
事故等種類	衝突（防波堤）	
発生日時	平成21年8月20日 14時00分ごろ	
発生場所	愛媛県松山市 松山港吉田浜 ^{よしだはま} 防波堤灯台付近 (概位 北緯33°50.9′ 東経132°41.5′)	
事故等調査の経過	平成21年8月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 ^{コンフィデンス} CONFIDENCE（バハマ国）、5,658トン	
船舶番号、船舶所有者等	9141900（IMO番号）、CONTINENT MARITIME S.A.（バハマ国）	
乗組員等に関する情報	船長、船長級	
死傷者等	なし	
損傷	右舷外板に凹損 防波堤突端コンクリート一部欠損	
事故等の経過	<p>本船は、コンテナ137個を積載し、船首約3.81m、船尾約5.80mの喫水で、松山港吉田浜防波堤突端から約1,400m付近を針路約125° 速力約8ノット（kn）で航行中、左舷から約1～2knの潮流（南流）を受けていた。</p> <p>本船は、次第に左舷からの潮流が強くなって圧流され始めたことから速力約10knに増速したが、同防波堤間近になったころ、左舷からの潮流が約5knになり、同防波堤突端に向かって急速に圧流されたので、船首のサイドスラスタを使用し、船尾を左方に振って同防波堤との衝突を避けようとしたものの、平成21年8月20日14時00分ごろ、本船の右舷中央部が同防波堤突端に衝突した。</p>	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風速 約4m/s、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の末期	
その他の事項	釣島水道の同日14時28分の流速は、南西方に約2.7knで、高浜瀬戸は釣島水道より約1時間10分早く転流する。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、潮流により圧流されていたが、憩流を待たずに松山港に入航を続けたことから、松山港吉田浜防波堤の近くになって流速を増した潮流により同防波堤に向けて圧流されたものと考えられる。 事故当時、松山港吉田浜防波堤の入口では約5knの南流があったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が松山港に入航しようとして潮流により圧流されていることを知った際、憩流を待たずに航行を続けたため、松山港吉田浜防波堤	

	の入口に近くなって流速を増した潮流に圧流され、同防波堤に衝突したことにより発生したものと考えられる。
--	--